

2025年11月30日(11月第五主日)  
アドベント〈待降節〉I 主日礼拝式



# 「忘れないで」

1. 忘れないで いつもイエス様は  
きみのことを みつめている  
だからいつも 絶やさないで  
胸の中の ほほえみを
2. だけどいつか 激しい嵐が  
きみのほほえみ 吹き消すでしょ  
だからいつも 離さないで  
胸の中の みことばを

【次】

# 「忘れないで」

3. 忘れないで 悲しみの夜は  
希望の朝に かわることを  
だからすぐに とりもどして  
いつものきみの ほほえみを

# 「御名を掲げて」

(詩篇148:13)

み名をかけて あなたをたたえます  
救いのために あなたは来られた  
救いのみちを 与(あた)えに  
天(てん)よりくだり 来られた  
十字架により いのち あがない  
よみがえられた

## 新聖歌67番 「わが心は」

- 1 わが心は 天(あま)つ神を尊(とうと)み  
わがたましい 救い主を ほめまつりて喜ぶ
- 2 数に足らぬ わが身なれど 見捨てず  
よろずよまで さきわいいつつ 恵みたもう嬉しさ
- 3 御名は聖く 大御業(おおみわざ)は かしこし  
代々(よよ)に絶えぬ みいつくしみ 仰ぐ者ぞ受くべき
- 4 ひくき者を 高めたもう み恵み  
おごる者を 取りひしげて 散らしたもう御力(みちから)
- 5 アブラハムの すえを永遠(とわ)に かえりみ  
イスラエルを 忘れまで 救いたもう とうとさ アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖靈によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより來たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖靈を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

## 新聖歌70番 「朝日は昇りて」

- 1 朝日は昇りて 世(よ)を照らせり 暗きに住む人  
來たり仰げ 知恵に富みたる主 世にいでたり  
さとりなき人は 来たり学べ
- 2 力に満つる主 世にのぞめり か弱き人びと  
來たりたのめ 安きをたまう主 世にくだれり  
苦しめる人は 来たり受けよ
- 3 救いを賜(たま)う主 世に生まれぬ すべての人びと  
來たり祝え 天地(あめつち)しらす主 世にあらわる  
よろずのもの皆 どよみ歌え

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を來たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父子 御靈(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン